

議

議

議

議



第六回 第二次 本會 議 會 議 錄

一 卷 四 七 道

第六回第三次 本會議合議錄

日時 禮記 庚午年五月十九日 上午十時五分

場所 愛宕北道 議合議事堂

司會 副議長 金島東

出席議員 在籍六十一名 中五十八名

缺席議員 五名

金鐘海 朴菊福 朴聖胤

朴相泰 許必

一 出 席 人 務 員

內 務 司 長

地 方 課 長

副 議 長

一 上 午 十 時 至 五 分

第 六 回 第 二 次 本 會 議

第 一 次 議 事 之 直 言

一 第 六 回 第 一 次 本 會 議

會 議 錄 通 告

曹 秉 培 徐 在 均

金 允 衡

郭 子 承

議 員 三

且 早 日 會 議 錄 中 修 正 外 之 吳 廷 楷 稿 亦 同

修 正 通 告 外 吳 廷 楷

一 報告事項

江東郡隘東南堤防築修陳情書受理の件

一 宗道亂議員の是より請願之議員の者以上の紹介が
いたしあつた。いかにして陳情書が理事事項の
名目にて是よりいせしむべきに
是れを以て受理せしむべきに

一 司会金島東副議長の是より茶会上の是より今日
は江東郡隘南堤防築修の任期が満了なり各議員は
介紹委員の請願書を各議員の全院選挙委員の
見にいせしむべきに

○ 是等委員等は内務委員會に化して事例改正
の成案を作成し、その是等委員會議決の
内容を其の如き意見の如き

○ 金在權議員は早急に内務委員會に成案を
提出せしむるに相當の論議が是を以て
今日本會議の討議の爲め是等委員の如
き委員の如き

○ 徐敏洙議員は是の如き委員會議決の意見
を以て後、内務委員會に成案を提出し、
其の如き委員會議決の如き

○金鐘漢議員を以て前金員賛成を不例とし
制定を以て今午の本案例上の金員委員
不足各分科委員会から選出を以て受当を以て
免すを以て以て

○金元衡議員を以て分科委員会之全部上の存
續しの上本案員改之を院選挙を以て之を以て
以て以て

○平道風議員を以て從前例を以て分科委員会を
持續する之を以て以て以て以て以て以て以て
成業する必要が以て之を以て以て以て以て

○徐在均議員の早稲田問題之明答日本會議院の
討論は之を以て今日之憲政監査の対峙の
議は之を以て今日之憲政監査の對峙の

○曹秉錫議員の早稲田條例制定時における中央條例
の依りては建設部を以て材料委員会は増設
せられたるが今にしては建設部を以て材料委員
会を以てするは存續の理ありては委員会は建設部
を通じて決議は外に之を以てするは以てする

○金基業議員の早稲田條例制定時期之來日
滿洲の今日之決議は之を以て條例上受當るべき

○ 本會議員이서 茶例改正 與否의 問題에 對議
하시 勸議가 及可 成多의 以也

○ 本東國議員은 早日 本會 議長의 任期가 來日 是滿
期의 以는 之 理解가 困難하며 五月 二十 五日의 滿了
日의 以는 允多의 以也

○ 金在枚 議員은 早日 介紹 本會 議長의 任期之 當然
의 勸議가 成多 來日 是 滿了 之 允多의
以也

○ 本東國議員은 早日 本會 議長의 任期 是 滿了 之 允多의
以也

日と早稲と年間の如く然る言ひの及ぶ

○ 米商の議員を早稲と法則を以て米商東國議員の
見解が如何なるかといふ今日之社會の身自を集りて
此の道故盤查の一部に而政盤查の如何果を
之の改議が及ぶ或は及ぶ

○ 金業議員を早稲と材料委員長の満期を以て
東國議員の見解が如何なるかといふ
此の及ぶ言ひの及ぶ

○ 金権議員を早稲と大郵中道故盤查を以て

안고서라나 監查事項의 對하야 內容의 外外 詞
查中의 以신나 今白之 報達書 題 作成의 以신나 以신나
之 以신나 以신나 以신나

○ 不道亂議 員의 早하야 大邱市 道政 監查의 總總 總總
總總 之 以신나 以신나 新簡 欲上하야 大邱市 監查의
中斷의 以신나 報達書의 以신나 上 總總 總總 總總 總總
以신나 之 改議 補充 說明이 以신나 以신나

○ 不道亂議 員의 改議는 表決하야 附也 結果
在 第 四 次 中 可 以 以신나 以신나
金基業 議 員의 勸議는 表決하야 附也 結果 在 第

理事會中司之並 議一之 勸議司決則以之口

一、後開地首議事會及員會條例中改正の件

第一、分科委員會編少の關の件

○現在議事員の多しに對し 併せて 外に 適當の 此の
認是の件 則ち分科委員會を 少く 設け 及ぶ
條例 亦 案の 此の 外に 及ぶ 可い 及び 及ぶ

○後開地首議事員の多しに對し 分科委員會條例改正の方法

第一、案、分科員、委員會議事會 各分科委員
員會の 此の 第一、案、分科委員會之 少く 及ぶ

本也員長此令院選學型及 第三卷 分科委員

令之是內務 產業、及教社令、及實決等 徵收員

務の並本委員令を編少外止 本委員長之 令院選

券の及之等より及之院選 及及之

委員令案例の正果別院選如可院選此也

○本委員長議員の及之計案例の及之 分科委員令

之及之及之勸議の及之或及之及之

○本委員長議員の及之計 分科委員令の及之

之及之及之及之 分科委員令の及之

及之及之及之 議員の及之勸議範圍の及之

及之及之及之 勸議範圍の及之及之及之

決議案の執行に
関係する事項は
必ずしも議決
事項に属する
ものではない
から

○ 決議事項の執行に
関係する事項は
必ずしも議決
事項に属する
ものではない
から

○ 金庫決議事項の執行に
関係する事項は
必ずしも議決
事項に属する
ものではない
から

○ 趙秉奎議員の早稲道級構外敬告蔡司を除外
此の三つの理由の第一は、議院の第一の業
務が、適當なる人を入員
し、是れが、各員會事、支障の及ぶこと
を介料委員會を、諸少の及ぶこと、各員會
の及ぶこと、及ぶこと

○ 宋道胤議員の早稲道級構外敬告蔡司を除外
此の三つの理由の第一は、議院の第一の業
務が、適當なる人を入員
し、是れが、各員會事、支障の及ぶこと
を介料委員會を、諸少の及ぶこと、各員會
の及ぶこと、及ぶこと

○ 徐錫沐議員の改義を表決の附記結果

在第四十七号中 可也 否也

在第四十七号中 可也 否也 附此结果

在第四十七号中 可也 否也 否也 未决也

否也

○ 在第四十七号中 可也 否也 附此结果

委员会之 别也 外 兼也 外 附此结果

徐德沐 委员之 可也 否也 附此结果

重復 附此结果 可也 否也 附此结果

○ 在第四十七号中 可也 否也 附此结果

委员会之 别也 外 兼也 外 附此结果

○ 多數黨議員の意見を採りて議決する方式を介紹する議員
會議の如きものは決然然後則ち此の如き
発言の如きもの

○ 徐錫誥議員の決議を海峽の附地結果
存続の如きもの可くは否の如きもの
決議の如きもの可くは否の如きもの
決議の如きもの

○ 本邦國會議員の意見を採りて議決する方式を
介紹する議員の如きものは決然然後則ち此の如き
発言の如きもの

○ 徐君後議員の早訂本勸業票之投票を以て
表決此の之勸業票の早訂本勸業票を以て表決此の
也

○ 徐君後議員の早訂本勸業票之投票を以て
表決此の之勸業票の早訂本勸業票を以て表決此の

○ 徐君後議員の早訂本勸業票之投票を以て
表決此の之勸業票の早訂本勸業票を以て表決此の
也

議又必致議中擇一能入而地多數票者以均決
此亦必致多議之及及也

○ 薩派身議員之身之新議補充說明可及
只也

○ 精東在議員之身在事之權其則担担也之
其多也司以外 議長其司監票員之自研
多身之議決也 議長之身之精東在
身變、本方武烟各議員之指名也及也

○ 叔東的議員之身之介紹委員會之規則之

○ 贊成... 其地... 贊成... 議長... 此... 後

○ 徐... 後... 議... 贊成... 可以...

○ 徐... 議... 贊成... 議長... 可以...

改議の決議の結果

改議決議の結果
投票の結果

存議の理由
改議の理由
改議の結果

第二 介紹委員会の人員配達

○ 候補委員の早計 内務の五名 産業の八名
農業 支社八名 多額者決議 徴収資格の重
複外は早計の五名 見解の一致

○ 惟淑身議員トモ早計内務ニ名及教社ニ名
産業ニ名トモ所外之ヲ究ム可ク及及也

○ 金重議員トモ早計内務ニ名及産業ニ名
及數ハ名 徹議トモ所外ニ徹心我議格與身及淑
身及淑身會之各ハ五名トモ所外ニ重復ニ名所外之
究ム可ク及及也

○ 徐正後議員トモ早計内務ニ名及産業ニ名及社ニ名
及産業ニ名トモ所外ニ徹心我議格與身及淑身會之各ハ五名トモ所外ニ重復ニ名所外之究ム可ク及及也

○ 後編の義員を早引内務ニ為 義員ノ名
及教員会ニ名 各級ノ決算ノ一 各級ノ決算
是即ニ 徴心或資格之ニ各級ノ名 徴心或資格
新編ノ決算ノ各級ノ決算ニ各級ノ決算

○ 精華義員を早引内務ニ為 義員ノ名
及教員会ノ各級ノ名 各級ノ決算、徴心或資格
各級ノ名ノ各級ノ名 各級ノ決算、徴心或資格
各級ノ名ノ各級ノ名 各級ノ決算、徴心或資格

○ 義員を早引内務ニ為 義員ノ名
各級ノ決算、徴心或資格
各級ノ名ノ各級ノ名 各級ノ決算、徴心或資格
各級ノ名ノ各級ノ名 各級ノ決算、徴心或資格

受託のいひ

○ 受託の義員は、自らに於て、
外に、重なるが、当然に、
いひ

○ 受託の義員は、自らに於て、
外に、重なるが、当然に、
いひ

○ 受託の義員は、自らに於て、
外に、重なるが、当然に、
いひ

○徐在均議員の意見は、早に内務省に呈請せしむべきに
支那の教育の進歩は、早に決するべきに、教育の進歩は、
又、その進歩は、教育の進歩は、早に決するべきに、教育の進歩は、
或る程度の進歩は、早に決するべきに、教育の進歩は、

○鄭深在議員の意見は、早に決するべきに、教育の進歩は、
後列の進歩は、早に決するべきに、教育の進歩は、
或る程度の進歩は、早に決するべきに、教育の進歩は、

○精東義議員の意見は、早に決するべきに、教育の進歩は、
或る程度の進歩は、早に決するべきに、教育の進歩は、

第三 委員選舉及不

○ 徐在玟 議員 之 早 計 各 議 員 之 節 理 亦 之 介 紹 之 之
選 拔 亦 之 入 員 之 報 道 亦 之 以 之 推 選 亦 之 以 決 定 亦
外 之 報 道 亦 之 以 及 亦 之

○ 徐 燾 沐 議 員 之 早 計 各 議 員 之 節 理 亦 之 介 紹 之 之
是 記 入 撰 出 亦 之 入 員 報 道 亦 之 以 之 推 選 亦 之 以 決 定 亦
外 之 報 道 亦 之 以 及 亦 之

○ 金 在 叔 議 員 之 早 計 各 議 員 之 節 理 亦 之 介 紹 之 之
亦 之 報 道 亦 之 以 及 亦 之

選考委員の上にも委員長の承認を得て決選の事を行は
せざるを得ないものと見られる

○ 采身選考委員の選定に各及び自己技能の如何と志願
の如何に依りて選考の如何なるものか入選の如何に
ありしに依りて推考委員の如何なるものか選考の如何に
ありしに依りて

○ 趙東選考委員の選定に内務、産業、支那社会科
員会中 希望の如何なるものかありしに依りて入選の
如何なるものか推考委員の如何なるものか決選の如何なるものか
推考委員の如何なるものか現所屬委員会の如何なるものか入選の如何なるものか

勸議が及の成を以てする

○金庫課長議決を以てして内務委員会の内務課長建
議を以てして起程の事なるに及教社会の
各地支教社会者等議決を以てして教社会の
会に及しては事業を以てして水産外務林業各課
の所管に及して議決の及の成を以てする

○柔道部議決を以てして是等各課の各課長に
以てして議決の所管に及しては議決の及の成
を以てする

○ 獲外意議其... 早計... 此後難性... 避... 計...
○ 獲外意議其... 早計... 此後難性... 避... 計...
○ 獲外意議其... 早計... 此後難性... 避... 計...

○ 金重議議... 改議... 議... 改議...
○ 金重議議... 改議... 議... 改議...
○ 金重議議... 改議... 議... 改議...

第... 議... 吳白字

○ 金重議議... 議... 議... 議...

○ 金重議員の及可方場一致に可決に及可

運動部

○ 金重議員の及可方場一致に可決に及可
白川外之及可方場一致に可決に及可

○ 及可方場一致に可決に及可
議定後在り員長は選定身可なり及可方場一
致に可決に及可

○ 金花杖議員の及可方場一致に可決に及可
議の及可方場一致に可決に及可

○金國心錫義員の早引合院の事
多事等決り
○依例の上介科各員合の自律例の在り
○川田山 各員長選考の道徳的
○議決の究る事

○上様決り義員の早引下等の特例の事
多事等決り、
○各員長選考の事
○各員長選考の事

○徐敏決義員の早引の事

卷之八 商政議之六の跋

明治二十九年

○金部議院の成立
金部議院の成立は、明治二十九年、
當時の財政の窮乏を以て、
金部議院の設立を以て、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、

○趙東在議院の成立
趙東在議院の成立は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、

○金部議院の成立
金部議院の成立は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、
其の議院の組織は、

○ 及可 委負選定之自湖決是也

○ 徐墩決議員之名以河海政議是撤回也

○ 徐墩決議員之政議是表決則附也

○ 金枝杖議員之動議是表決則附也

○ 金枝杖議員之連署也

○ 外及可或也

○金元衡議員の選挙に
分を以て以上得業者を
当選するに於ては
及及

○尹國勳議員の選挙に
分を以て以上得業者を
当選するに於ては
及及

○金元叔議員の選挙に
分を以て以上得業者を
当選するに於ては
及及

第五 承前長德寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺
承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺
承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

承前長德寺 監界 議員 多 指 為 山 院 寺

慶 間 北 道

六 選舉委員會委員長選舉券

存券五十二名中

金基業二一票

姜時錫一票

徐運後一票

金相道四一票

金聖漢四一票

曹秉錫三一票

孫泳才一票

金其業議員可當選出及白

三 文教社會委員會委員長選舉券

存券五十二名中

金因心三一票

杖東河十一一票

李斗燮一票

白海鏡九一票

徐在均四一票

徐燾沐

李道鳳一票

金鳳燮一票

李斗昇

一葉也

金田心錫議談の当選の及言

田子等法算意談公交演致談考

在壽在二力中

妻崎錫ニニ葉

金在杖四葉

采道風一葉

梁在楊一葉

妻崎錫議談一

若五了珠九葉

信翰心三葉

敬由変一葉

徐思後一葉

若選心及言

杖果河七葉

金龜溪一葉

木才在亦一葉

五

玉徳政清海村在演公在演致談考

在 第 五 十 一 号 中

在 第 五 十 一 号 中

金 相 道 一 票

金 元 衡 一 票

在 第 五 十 一 号 中

金 在 权 一 票

郑 元 模 一 票

木 子 丹 若 一 票

在 第 五 十 一 号 中

宋 子 煥 一 票

郑 源 在 一 票

朴 曾 珍 一 票

在 第 五 十 一 号 中

下 金 相 道 議

一 下 牙 一 時 各 分 議 決 承 認 內 務 總 務 長 以 理 會 會

一 下 牙 一 時 各 分 副 議 長 司 會 下 司 本 會 議 決 辦

一 金 相 道 議 決 各 分 會 司 議 會 構 成 一 週 年 以 後 各 分 會 司 事

の濫手權が如きもの及び之の濫用は議長の
名目には適内の現愛情を呈明するが
おのれの及ぶ之を答ふに及ぶ

一、委員の議長の及ぶに金相道議員の拒否事件の
対処に及ぶ議会の及ぶ 対策の及ぶ
及ぶの及ぶ

○議長の及ぶに昨日の議長は正副議長、弁科
委員長の議長の及ぶに美入事出之關係機動
の拒否の及ぶに決意の及ぶに今日に美入事CIC
等を通じての強力に拒否の及ぶに及ぶ

○金相道議員의 申言 上 後 對 統 治 報 告 書 的 對 策
上 以 上 的 申 言 的 對 策 以 後 對 統 治 報 告 書 的 對 策
對 於 對 策 的 申 言 是 對 於 統 治 報 告 書 的 對 策
對 於 對 策 的 申 言 是 對 於 統 治 報 告 書 的 對 策

○ 奉 道 院 議 員 的 申 言 事 件 內 各 是 明 白 的 所 以 爲
的 特 別 委 員 會 是 構 成 的 (特 別 委 員 會 會 長)
正 副 議 長 及 各 委 員 會 長 (正) 與 狀 是 調 查 的 所
以 本 會 議 員 上 調 查 是 上 的 對 策 是 講 究 的
及 之 勤 議 員 及 之 成 員 的 申 言

○ 奉 道 院 議 員 的 申 言 事 件 內 各 是 明 白 的 所 以 爲
的 特 別 委 員 會 是 構 成 的 (特 別 委 員 會 會 長)
正 副 議 長 及 各 委 員 會 長 (正) 與 狀 是 調 查 的 所
以 本 會 議 員 上 調 查 是 上 的 對 策 是 講 究 的
及 之 勤 議 員 及 之 成 員 的 申 言

大問題の正統的教養所としての國民の
振奮の目的は此の如きである。

○ 趙東の義勇隊の如きものは不義の徒の養成に努むるべき
背後の韓國人の不在の如きは尤も其の如き
徹底的調査の後 此の如きものは
此の如きものは 及ぶ

○ 金田の義勇隊の如きものは 此の問題を國際的の如
大問題の正統的教養所としての國民の
振奮の目的は此の如きである。

○ 采道風議員の勸議を以て決り及ぶ
教を可決し及ぶ

上下の時に分 割議長 第六回 第三次 本会議
教を可決し及ぶ

劉謙長
盧昌東

謙負

許
謙
孫
勤
教